

# 手賀沼流域協動調査結果(令和3年度)

河川

【大堀川流域】  
COD濃度の平均値が5.2mg/Lを示した。他流域よりも市街地の割合が大きく、上流の一部及び合流する複数の地点で高い値を示す傾向がある。

注: 大堀川における調査世点No.の半分が赤色で白文字になっている地点については、大堀川に合流する直前の調査等にて録測した値を示す。



## 大堀川流域



## 湖北集水流域



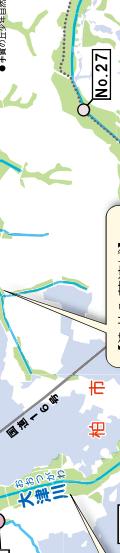
## 柴井入落流域



## 重成川流域



## 大津川流域



## 金山落溜流域



## 市町村界



## 手賀沼流域

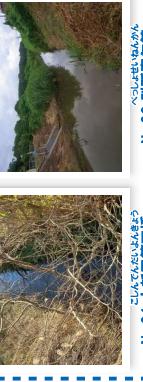


## 手賀沼流域



## 参考団体

我孫子市消費者の会、我孫子市けんかんの会、我孫子市野鳥を守る会、日西町環境推進市民会議、工コライア会、NPO法人せいかんの会、大堀川をきれいにする会、手賀沼・大堀川をきれいにする会、神明川を守る会、柏市環境保全協議会、我孫子市環境保全協議会(パワーテック株)、鎌ヶ谷・大堀川を守る会、魚成川を考える会、日西町自然を考える会  
※五十音順  
柏市、我孫子市、印西市、流山市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県、環境省、農林水産省防除課会議会  
※1 全34地点 (No. 11は次番)  
※2 パックテスト③は、(株)共立理化学研究所の登録商標です。



## 凡例



CODは、水中の有機物を酸化する際に必要な酸素量で、値が大きいほど水が汚されていることを示します。CODが高いほど水中の酸素が多く消費されて溶存酸素が減少し、微生物による自然浄化が阻害されたり、生物が生息しにくい環境になります。CODの汚濁負荷源は、主に生活排水や事業場排水、水、市街地の路面等です。また、排水口外が河川で増えたこと、前処理工程が増加したこと等で、特に生活排水の汚濁負荷は大きく減りましたが、市街地の路面等からの汚濁負荷は減少していないません。